

カウンセリングに導入したイメージ体験の変化過程における分析 —MVAS（門前語彙分析システム）への挑戦—その序

門 前 豊志子

A Study of Process Analysis on Therapeutic Imagery Method —A Challenge to MVAS(MONZEN Vocabulary Analysis System)—

Toshiko MONZEN

1. はじめに

これまで心理療法の治療過程に関する分析では、心理療法の立場によってその方法は異なるが、ロジャーズによるカウンセリングの立場では、逐語録を基にしてクライアントとカウンセラーの言葉による治療関係が展開していく様子をたどりながら、クライアント理解とカウンセリングの目指す方向性が適切になされているかどうかを検討していくことが多い。逐語録を持たない場合には、ともすればカウンセラーの主観的な記録にたより、カウンセラーが気になる個所や共感できる個所が拡大され、客観的な記録に基づいて検討する仕方とは違った捉え方をしてしまうことが避けられないのではないかと考えられる。クライアントの言葉は、普遍的な意味（外延的言語）と同時にその個人特有の意味（内包的言語）を持っている。同じ言葉でも、その意味はクライアントの体験による感じ方や考え方、さらにクライアントのおかれた状況によって異なってくる。カウンセラーは、クライアントの話をよく聴くことがカウンセリングの第一歩であると言われているが、聴く側のカウンセラーもできるだけ主観的な捉え方をなくして、クライアントの内的世界を言葉を通して共有する必要がある。筆者のこれまでの経験を振

り返ってみてもクライアントの内的世界を共有しながらカウンセリング関係が持てたかどうかと考えると十分ではなかったといえる。長い事例においても、クライアントの求めるところとくいちがっていたことに、あとから気づかせられることがある。その都度、的確な応答をすることはできないにしても、クライアント独自の表現の仕方を理解して、考えの基盤となることばの持つ意味を知っていくことがクライアントの理解につながっていくのではないかと考えられる。

2. 心理療法において語彙を分析するという試みの意義

ロジャーズは自身の逐語録を1948年にはじめて公開することで、カウンセリングの治療関係をできるだけ客観的に捉える試みの必要性を示唆した。以来カウンセリングにおける記録は逐語録をデータとして分析していくという方法がカウンセリングにおけるスーパービジョンの基本になってきたのではないと思われる。筆者自身もそのように指導をされ、クライアントの発言内容の意味を確認したり、言外の意味を明確化する大切さを指摘されてきたといえる。逐語を起こすことはなかなか面倒な作業であるた

め、カウンセリングでの要点のみを記載するだけで正確な記録として残さない場合には、特に、印象に残った部分が強調されたり、記憶の変容を免れることができず聴き落していたり、誤解して分かったつもりになっていたりして、非常に偏った記録になってしまう。これらの弊害をできるだけ少なくして、記録を正確に録ことは、クライアントの考え方や自己表出の仕方の特徴をつかむのに役立つと共に、治療における方向性や目標がたてやすくなることにつながる。さらに、治療関係において、クライアントへの応答の適切性やクライアント理解にも役立つと考えられる。

クライアントが自身の内的精神活動による内的世界を表出することができる手段としては、成長するにつれ、言葉が動作などの行動よりも優先するようになる。言葉に付帯する情緒によって、あるいは言葉それ自体に情緒的負荷価値をもっていると考えるもいいのかもしれない。日常的な他者理解には言葉でのやりとりもさることながら、表情や動作など非言語で情緒的交流の不足部分を補う方法がとられる場合が多い。しかし、カウンセリングなど心理療法の場合には、言葉でのやりとりが主となる。カウンセリングにおける治療関係が進展するにつれて、クライアントは、カウンセリングの中で自由に内面の情緒や考えを言葉で表現できるようになると、その関係はカウンセリングとして機能していると捉えることができるし、クライアントの内面における考え方や感じ方、それに伴う情緒状態について理解を深めることができる。

3. MVAS による語彙分析の方法

これは、門前進（2008）によって開発された語彙分析の方法である。門前は面接場面におけるクライアント・カウンセラーの発言を分析して、面接の流れを明確に把握して、クライエン

トがカウンセリングに求めている欲求をカウンセラーがうけとめ、クライアントを適応的な方向に導いていけているのかをフィードバックすると同時に、治療関係の深まりを知る大きな手掛かりとなる方法であるとのべている。

従来、心理療法は事例ごとに解釈をしたり、事例に応じてとらえていくことが大事であるといわれてきた。しかし、解釈にはカウンセラーの主観的判断や価値観、ときにはカウンセラーの願望が投影されてクライアント像を歪めてとらえてしまう場合も生じる。主観的なとらえ方をできる限り排除しつつ意味内容における特徴を明確にしたいという目的から国立国語研究所の語彙分類表が語彙を分類する基本になっている。ここでは、約3万語の日本語が品詞に基づいて分類され、分類番号がつけられている。これらの語彙の分類基準を基本にしながら、できるだけ客観的にクライアントの言葉をとりあげて、クライアントの独自の内的世界を共有し、理解する一つの方法として開発されたのがMVASによる分析方法ではないかと考えられる。

筆者はこの分析方法に挑戦することで、カウンセリングに導入したイメージ体験で表現された言語を通してクライアントの内的世界の変化過程をたどることにした。

語彙分析の方法

MVASソフトを手に入れる。初歩段階での語彙分析方法は、以下の手順で行う。

1. 語彙分析のデータとして、カウンセリングにおけるクライアントの逐語録が必要となる（今回はイメージのデータを用いている）。
2. 逐語録による分析対象の文章をエクセル上のA1セルに入れて、Ctrl+hで変換する。
3. 変換で誤りがあった場合、チェックして、誤りの修正をした後、Ctrl+sを実行する。

4. 3の実行により変換誤りの語彙がエクセル J と K 列に表示される。ATOK15の辞書を語彙分析モードにして、正しく変換した語彙を入れる。たとえば今日という語彙が文脈上異なる意味でとらえられ変換されている場合、それを文脈に応じて、時間的な意味合いであるとするならば、正しい変換は、名詞・1.1641・今日（関係＋時間＋現在・は）という様に変換される。修正が終了したら、Ctrl+u を実行して1の元の文章が復元する。

5. 修正、復元した文章を確認した後、Ctrl+t で語彙の集計を行う。

集計結果はエクセルのSheet 3のO列からAH列に表示される。

6. これら一連の操作において、以下の様な語彙の分析結果が得られることになる。

出力結果1として、語彙の分類番号ごとの集計結果が得られる。出力結果2として、語彙ごとの集計結果が得られる。出力3と4は各分類番号における語彙ごとの集計結果が得られる。

これらの方法に基づいて、筆者は、カウンセリングにイメージを導入した事例をとりあげて、そのイメージ分析を試みた。

本事例のイメージはカウンセリング開始89回目から終結の163回目まで73回おこなった。ここで取り上げるイメージ内容は、イメージ開始から15回目までの変化を語彙分析で検討することにした。語彙分析の最初の段階であるということ、語彙分析の手法に慣れるということ、まったくの初心者として挑戦することにした。

4. 語彙分析を用いた事例の紹介-15回のイメージ体験過程の分析の試み

事例 Aさん

来談時 50代の女性

主訴 書癡

来談経路 某大学のエクステンション・センターで集団自己催眠イメージを習得後、個別のカウンセリングがよいのではないかということで紹介された。

家族構成 Aさんと成人に達している子ども2人の3人家族である。夫は来談3年前に病気で亡くなっている。実父母は来談10年前に他界している。義父母も来談4年から6年前に他界しているが、義理の兄と姉2人は健在である。

症状形成の背景および生活史について

初回カウンセリングで明らかになったことによると、某地方都市の由緒ある家柄である。裕福な家庭で4人兄弟の末っ子でひとり娘。本人の話では、母親は明治生まれでしつけに厳しく嫌いな食べ物でも絶対に残すことを許さなかった。泣いても食べさせた。兄なんかは泣きながら人参を食べていた記憶がある。女の子には、特に行儀よく、礼儀正しくいつもきれいであることを良しとされた。母親自身もいつもきれいにしていた様に思う。厳しい反面、使用人には家人と同様、分け隔て無く接していたように思う。

きれいさにこだわる価値観は成人になっても、心身共にきれいであること、他人に対してもやさしく、邪悪な心をもつことは汚い心の持ち主であると思うほど根強く浸透していたように考えられる。また、神仏への信仰心も強く、先祖を祀ることの大切さを身近に感じて育ったと語られた。

母親は書道にぬきんでて、本人は字が汚いとよくいわれて褒められることはなかった。

これらのきれいさへのこだわりは、おそらく書癡の症状として象徴的に現れ、なかなか症状がとれないという状態につながっているのではないかと考えられた。本人も「落書きができればいいのですが」と話されたように、頭ではわかっているが心の底からそれで良いと思えなかったようである。きれいさへのこだわりには母親との強い心理的結びつきが感じられた。

結婚後、数年間、夫の外国赴任に同行しながら子育てをするが、現時点で振り返るとこの時期が楽しい思い出になっているようであった。夫への不満は多少ありながらも、よき妻・よき母として充実した生活を送られたように推察された。国内勤務になったときに、義母が倒れ、以来20数年介護を余儀なくされた。

書癡の症状は、義母が亡くなった後、喪中のはがきを早く書くように夫から厳しく催促されたのをきっかけにして字が書けない、腕がしびれる、手がふるえるという脳卒中の後遺症のような症状として出現した。医学的には問題がなかったのに、心理的な問題ではないかということになった。

さらに、夫の死後、外出することができないという抑うつ的な状態が半年ほど続いた。来談時不眠気味であったり、血圧がやや高かったりしているとのことであった。

来談時の状態像

書癡という心身症的症状であるが、字をかくことが辛い。とくに人前だと手が震えて書けない。前述したように、喪中のはがきの時以来、依然として状態はあまり改善されていない様子であった。書こうとすると手が震えるほかに、腕のつけ根の処から腕全体がしびれるように痛い。痛みは発症当初よりだいぶ治まってきたが、まだまだよくないという訴えであった。書くためにいろいろ工夫していることが話されて、努力家で真面目な人柄が彷彿とさせられた。たとえば、書くために、ボールペンを選んだり、震えないように手をもう一方の手で固定するようしたり、また、書くときに余分な力を入れているように思うので、手の力を抜くようしたり、マス目にこだわらずに大きな字を書いたりしているが、非常に疲れてしまうということであった。

状態像は、中年の礼儀正しい、気配りの行き届いた女性であった。話したいことが一杯あって、聴いてほしいという様子が伺えたが、きちんと話さないといけないという構えが少しみられた。しかし、話し方や表現のどこかに文学少女の面影を宿しているような感じがしたり、話す内容の表現に文学的な言葉がみられた。最初は、現実的な話を中心であったが、カウンセリングが進むにつれ、徐々に心の内面を話す時空間をカウンセラーと共有することができる場になっていったと思われた。

症状形成の過程

前述したように厳しい母親の下での養育環境と結婚後の夫との関係や同居はしていなかったが、夫の家族（夫をはじめプライドの高い義兄弟）との関係から、妻として、嫁として義母などの意に反することに対して、自分を出すことができず、従順に従わざるを得なかったことによる内面の葛藤が、母親から字が汚いと怒られた事柄と重なって、書かないといけなくない状況で書けなくなるという症状となって顕現化したのではないかと考えられた。当時の小学校時代からの教育的背景（戦後まもない教育）も影響して、良妻賢母像へのこだわりで縛られ、自分自身も解放されずにそれに従う、あるいはそれを理想として近づかないといけなくないという考えから自由になれなかったものと捉えられた。

カウンセリングの目標

カウンセリングでは、症状消失をめざす場合が多いが、筆者がこの事例を担当したときには、まだ大人のカウンセリングに関して、未熟であったこともあり、クライアントの話を聴くということに終始したように思う。クライアントのこれまでの生活で苦痛な、ときによっては屈辱的な体験のなかを語ることから、カタルシスの効果を図ると共に、できるならば、どのような関係をもっていくことが自分としてはよかったのだろうか、なぜそそのようにできなかったのだろうか。

自分の中の何にこだわっていたのだ

ろうか。きれいさにこだわることは、汚いことを認めたり、受け入れられたら結果としてきれいになるのではないだろうか。

きれいさにこだわっている自分からの解放は、もしかしたら母親からの呪縛からの解放につながるのかもしれないという見立てをもちながら、とらわれからの解放が自己自身の確立につながることで、結果として症状の改善に結びつくのではないかと考えた。

カウンセリングの途上で、筆者は、きれいな心でいることは、人としてすばらしいが、いつもきれいな心で他者に接することは難しいことであり、心根の汚さに自己嫌悪に陥ったり、罪悪感をもつことも人であり、生きるということであるということを受け入れる過程ではなかったのだろうかと考えるに至った。

本事例におけるイメージを取り入れたカウンセリングの方法について

カウンセリングはロジャーズの提唱する来談者中心療法による方法で毎週1回、1時間の面接であった。約4年間継続し、面接回数は166回であった。

イメージはカウンセリング開始後1年半たった89回目から終結の166回まで76回行った。

イメージの導入は、カウンセリングで話を聴いた後、ジェイコブソンの簡易型リラクゼーションで身体感覚をリラックスさせた後、10分間自由なイメージを想起してもらった。

イメージを見終わった後イメージ内容と感想を言葉で報告してもらい、記録した。

イメージを取り入れた理由としては、クライ

エントが内的世界に目をむけることができるタイプであることと、想像力や感性が豊かであることからイメージの世界に入りやすいのではないかと考えたからである。また、来談する前には、催眠イメージの体験をもっていいということもイメージ導入に抵抗がなかったといえる。治療的には心の解放に役だっていくと仮定したからである。

今回取り上げて語彙分析を行ったイメージは、15回分である。イメージの過程から見ると最初の段階で全体の1/5である。

5. イメージの変化過程における語彙分析結果

15回のイメージの語彙分析結果は図1から図3に示すような結果が得られた。

ここでいえることはイメージの最初の段階ではあるが、語彙の変化の様相が客観的に把握され、変化の時点が明確に示されているのではないかと言うことである。76回のイメージを正確な逐語録なしに辿ること自体、十分に心の変化をつかめるか否か困難ではないかと考えられるが、MVASによる分析ならば、主観やカウンセラーの期待などのバイアスを排除した客観的な分析のデータとしてカウンセリング関係の変化やクライアントの心の動きを理解し、カウンセリング関係についての示唆をあたえてくれる力となるのではないかと考えられた。まず得られた結果を量的分析と質的分析の両側面から検

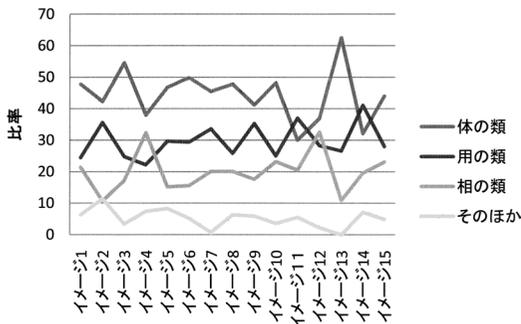


図1 品詞別分析結果

討する。

(1) 語彙の量的分析結果

図1はイメージとして表現された語彙を品詞別に分類した結果である。体の類は主として名詞からなる語彙の群で、用の類は主として動詞・形容詞と形容動詞からなる群である。相の類は主として副詞からなる群で、その他は接続詞などからなる群である。

図1から分かるように、全体に体の類の語彙が他の語彙の類よりも多く出現しているが、イメージ11回・14回では用の類の方が多くなっていることと、イメージ13回で特に体の類が際だって多いことが分かる。

接続詞などを示す「そのほか」の品詞についてみると、イメージ1回目では、相の類よりも多く出現しているが、イメージ3回目以降からは減少している。イメージ4回目・12回目まで相の類の語彙が増加し、用の類の語彙は、イメージ11回目・14回目に他の語彙を超えて一番多く出現していることが分かる。語彙内容に見られるイメージ内容との関係のみをみる必要があるが、品詞の4分類における相互関係をみると、イメージ5回目からイメージ10回目までは比較的安定した関係で推移しているが、イメージの最初の4回目までとイメージ11回目から14回目にかけて、相互の関係に変化

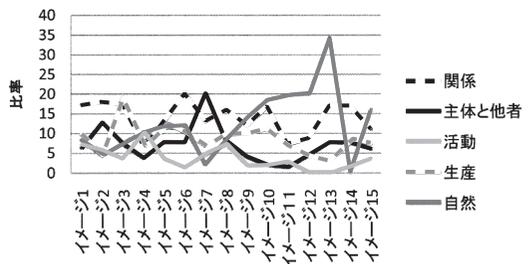


図2 人・物・時空間などとの関係における分析結果

が見られていることが分かる。相互関係の変化が意味することに注目する必要がある。

図2と図3をみる。図2は、事柄や様相との関係をみる語彙の分類と主体が家族や友達など身近な他者を含めた他者との人間関係をみる語彙の分類と心の活動や自然との関係などを表す語彙を5つの側面から分類した結果である。この結果をみると、イメージ11回目から13回目にかけては、5つの側面の相互の関係が入り乱れるのではなく比較的順序正しく安定した様相を示しているのではないかと捉えられる。15回目のイメージで落ち着いたイメージをする体制に入れるようになった段階ではないかと考えられる。15回のイメージの最初の段階における転回点が生じているように思われる。興味深いことは物と主体との関係が14回目で減少し、他者との人間関係に注意が向けられていることと、また、図3で分かるように、他者との関係が減少して主体の心の活動が急激に増大していることがみとれる。図3における関係は時空間における自分の存在感の関係を意味している場合が多く、自分がどこにいるのかという不確かさとともに、他者との関係で自分がどのような人間関係をもっているのかの不確かさで

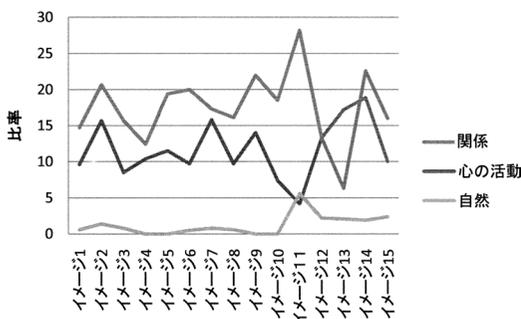


図3 他者との関係・心の活動・自然の表現による分析結果

もある。このような自己の不確かな存在感が減って、主体の心の活動が全面に出てきたことは非常に興味深い結果である。

(2) 語彙の質的分析結果 (イメージ内容の分析)

量的分析の結果から明らかになった点について、イメージの内容と関連づけて捉えた質的な語彙分析の検討を試みる。

詳しいイメージ内容を呈示することはできないが、イメージの体験の前半、1回目から10回目までと後半11回目から14回目における転回点ともとれるイメージの内容を比較検討して、両者の相違について考えてみたい。

イメージ体験の前半1回目から11回目にかけてみてみると、この段階の中において、1回目から4回目までと5回目から11回目に分けられるがイメージ内容は多様な様相を示している。1回目から4回目にかけてのイメージ内容では現実の生活に近い場所や空間におけるイメージが中心であった。固有の地名が多く出現してイメージの世界と現実の体験とが入り交じって話されている内容であった。5回目からは現実の世界から離れて徐々にイメージの世界に入ることができるようになっていって、広々としたところにいる自分や、自分の周りに羊が一杯いて、オーストラリアのような感じの体験であったり、一面の花の咲く様を眺めている自分がいたり、お花に水をやっている自分がいるが、どこまでもお花があって、水をどこまでやればいいのか迷っている自分がいたり、水をやっているところからお花がでてきたりして、驚いたりしているイメージが話されている。このように現実の喧噪の世界から徐々にイメージの空間に浸り、少しずつ心が解放されていく感覚を感じ

じていることが推察される。

5回目から11回目にかけては、イメージ体験のなかでさらに心がゆったりしていく感覚を味わえるよるこびを、「ずっとこのままでもいい」、「いつまでもこうしたい」「ゆっくり見ていたい」という言葉で表現されている。

転回点と考えられるイメージ11回目から14回目では、花々や川などの自然の中で自分が存在していて、その時空間との関係の中で穏やかな気分や気持ちの良いさわやかな気分を感じて、非常に自分自身のイメージの世界に没入している段階ととらえられる。

この段階では、自然との関係の中で自分の心を徐々に広げていっている様子が手に取れる。何か行動をおこすという活動は見られないが、しかし、じっと見ていたり、眺めていたり、やや遠くから静かに見ている中で、心のなかではきれいな感じや、みずみずしい感じ、若々しい感覚などを生き生きと感じている心の動きが表現されて、現実の世界における煩わしさに影響を受けずに少しずつ自分の内的世界を創り上げていく営みがなされているのではないかと考えられる。

6. 考察にかえて

15回のイメージの結果を量的、質的に分析することでクライアントのイメージの変化過程を捉える試みをした。MVASによるはじめての挑戦であり、四苦八苦しなながら説明書をたよりになんとか僅かではあるが、分析することができた。イメージは全部で76回行って、今回はそのうちの15回分、約1/5を分析の対象にした。まだまだ先は遠いが、しかし15回分だけの分析においても、イメージ体制に入っていく過程や、

イメージの世界での自分感覚など示唆さるところは多かった。量的分析もさることながら、質的分析にもまだまだ検討する余地があり、不十分であったことは否めないが、客観的に事例を検討してカウンセリング関係におけるカウンセラーのクライアント理解にMVASによる方法が今後多いに活用され、生かされていくことができる手ごたえを確信した。

今後も、さらに語彙分析に挑戦して「ことば」を通してクライアントの内的世界を理解していく試みを続けていきたいと考えている。

参考・引用文献

- 河合隼雄 1986. 心理療法論考 新曜社
門前 進 2008. 電子書籍 臨床心理学における科学的シングルケース分析への挑戦
語彙分析プログラム MVAS サンプル版
門前研究所
ロジャーズ著 佐治守夫編 友田不二夫訳
1998. カウンセリング 改訂版
岩崎学術出版社

資料 語彙分析によるイメージ1回目の分析の第一段階例

イメージ1回目（カウンセリングでは89回からはじまる）

いつもお茶にいつている荒川の河川敷のところをバスに乗っています。バスはうごいているような動いていないような感じ。土手のところでは、土手の茶色も枯れてて気持ちもゆったりしてて川の水は静かできれい。空が真っ青で川口の町の景色が見えてて、川を渡り終えなくてもいいわ。後ろの方も前の方も特別に人影がない。向こうを見るとのんびりした気分。ゆったりしておだやかな気分。橋を渡って、大分県側と福岡県。

土手のうえで目にうるさいという感じがありません。嫌な感じがありません。季節は今のかんじ。高いところから見下ろしている感じ。運転手さんも目障りではない。自分だけが楽しめる。180度川と河川敷。川口の町の向こうにビルが見えている。それがよけいにこの広がりやゆったり感を感じさせます。（バスは）真ん中あたりで動きそうにないけどどうでもいい。すごいきれいな広がりだなという感じです。（ゆったり感を味わったら終わりにしてください）。

姿勢を変えたら、バスが川を渡って、渡り終えたら、交通が激しくなってきた、先生のところに行くのが車が多いのが嫌ですね。岩槻の方に行くバスが多くて、結構車が多いのが気になります。（多いという感じでバスに乗っている）バスは人が乗ってるけど余り気になりません。

（ ）は筆者の発言

名詞	1.3010・	気分	*。	(活動+心+感情ト気分)	bv38919
名詞	1.4710・	橋	*を	(生産物+土地利用+道路ト)	bb40754
名詞	3.1600・	わたって	、	(関係+時間+時間)	bb15361
固有地名	1.2590・	大分県		(主体+公私+固有地名)	bl21094
名詞	1.1750・	側	***	(関係+空間+面ト側ト表裏)	bb38269
終助詞	xxxxxx・	と	***	(とaa)	bb41977
固有地名	1.2590・	福岡県	。	(主体+公私+固有地名)	bl8038
名詞	1.4720・	土手	*の	(生産物+土地利用+その他)	ar18426
名詞	1.1113・	うえ	で	(関係+類+理由ト目的ト証拠)	bb34881
名詞	1.5601・	目	*に	(自然+身体+頭ト目ト鼻ト顔ai)	bb36163
形容詞	3.5030nw・	うるさい	***	(自然+自然+音)	x24941
終助詞	xxxxxx・	という		(という)	bb28176
名詞	1.3001・	感じ	***	(活動+心+感覚)	bv41027
形容詞	3.1202・	がな・い	。	(関係+存在+否存在)	x44405
形容動詞	3.3020d・	嫌	***	(活動+心+好悪ト愛憎)	x47122
名詞	1.1652・	なか	んじ	(関係+時間+途中ト盛り)	bb33462
形容詞	3.1202・	がな・い	。	(関係+存在+否存在)	x44405
名詞	1.1624・	季節	は	(関係+時間+季節)	bv38838
名詞	1.1641・	今	***	(関係+時間+現在)	bb39922
終助詞	xxxxxx・	のか	んじ。	(の+か)	bb33338
形容詞	3.1911・	高・い	***	(関係+量+長短ト高低ト深淺)	x46981
名詞	1.1700・	ところ	***	(関係+空間+空間ト場所)	bb28075
名詞	xxxxxx・	から	***	(からab)	bb34578
サ行五段	2.3091・	見下ろし	***	(活動+心+見る)	x21017
ラ行五段	2.1200・	ている		(関係+存在+状態)	x43593
名詞	1.3001・	感じ	*。	(活動+心+感覚)	bv41027
名詞	1.2415・	運転手		(主体+成員+運輸業)	bl53209
接尾語	xxxxxx・	さん	も	(さん)	bb34148
形容動詞	3.3090b・	目障り		(活動+心+見聞き)	x15744
形容詞	4.4400・	ではな・い	*。	(否定)	x23714
名詞	1.2021・	自分	***	(主体+人間+自)	ar49583
名詞	3.1940・	だけ	*が	(関係+量+一般ト全体ト部分)	bb33841
一段動詞	2.3011pw・	楽しめ・る	。	(活動+心+快ト喜び)	x22032
数詞	1.1950・		180	(一・二・三)・数詞*	yyyyyy
名詞	1.1962・	度	***	(関係+量+助数接辞)	bb37542
名詞	1.5250・	川	***	(自然+天地+川ト湖)	bb38441
終助詞	xxxxxx・	と	***	(とaa)	bb41977
名詞	1.5240・	河川敷	*。	(自然+天地+山野)	bl50191
名詞	1.5250・	川口	*の	(自然+天地+川ト湖)	ar33277
名詞	1.2540・	町	*の	(主体+公私+都会ト田舎)	bb37805
名詞	1.2022・	向こう	*に	(主体+人間+他)	bl41790
名詞	1.4410・	ビル	*が	(生産物+住居+家屋ト建物)	bb33029
一段動詞	2.3091・	見え・て	***	(活動+心+見る)	x38699
一段動詞	2.1201・	いる	*。	(関係+存在+存在)	x48237
名詞	1.1010・	それ	が	(関係+事柄+こそあとト他)	bb33876
副詞	3.1920・	よけい	*に	(関係+量+程度)	bb25555
連体詞	3.1010・	この	***	(関係+真偽+こそあとト他)	bb34289
名詞	1.1581・	広がり	***	(関係+作用+伸縮)	bl41570
終助詞	xxxxxx・	と	***	(とaa)	bb41977
副詞	3.3013pw・	ゆったり	***	(活動+心+安心ト焦燥ト満足)	bb15816
接尾語	1.3001・	感	を	(活動+心+感覚)	bb41137
副詞	3.5030o・	かん	じ	(自然+自然+音)	bb34561
一段動詞	2.3430・	させ・る	*。((活動+行為+行為ト活動)	x44117
名詞	1.4650・	バス	*は)	(生産物+機械+乗り物(陸上))	bb33205

副詞	3.1600・	いつも		(関係+時間+時間)	bb31327
名詞	1.4350・	お茶	*に	(生産物+食料+飲料)たばこ	bv53489
名詞	2.3100・	いって	*る	(活動+言語+言語活動)cr	bb31328
固有一般	1.5250・	荒川	*の	(自然+天地+川)湖	bv23359
名詞	1.5240・	河川敷	*の	(自然+天地+山野)	bl50191
名詞	1.1700・	ところ	*を	(関係+空間+空間)場所	bb28075
名詞	1.4650・	バス	*に	(生産物+機械+乗り物)陸	bb33205
ラ行五段	2.1541・	乗っ	***	(関係+作用+乗り降り)浮き	x46432
ラ行五段	2.1200・	ている	。	(関係+存在+状態)	x43593
名詞	1.4650・	バス	*はうご	(生産物+機械+乗り物)陸	bb33205
一段動詞	2.1201・	い	***	(関係+存在+存在)	x48237
ラ行五段	2.1200・	ている		(関係+存在+状態)	x43593
名詞	xxxxxx・	ような		(ような)	bb25566
力行五段	2.1510・	動い	*て	(関係+作用+動き)	x45611
一段動詞	2.1200・	い		(関係+存在+存在)	zzzzzzzz
形容詞	4.4400・	な	い	(否定)	zzzzzzzz
名詞	xxxxxx・	ような		(ような)	bb25566
名詞	1.3001・	感じ	*。	(活動+心+感覚)	bv41027
名詞	1.4720・	土手	*の	(生産物+土地利用+その他)	ar18426
名詞	1.1700・	ところ	*では、	(関係+空間+空間)場所	bb28075
名詞	1.4720・	土手	*の	(生産物+土地利用+その他)	ar18426
名詞	1.5020・	茶色	も	(自然+自然+色)	ar24333
一段動詞	2.5702・	枯れて	*て	(自然+生命+死)	x38351
名詞	1.3010・	気持ち	*も	(活動+心+感情)気分	bl47468
サ変動詞	2.3013pw・	ゆったりし	*てて	(活動+心+安心)焦燥ト満足	x12383
名詞	1.5250・	川	*の	(自然+天地+川)湖	bb38441
名詞	1.5130・	水	*は	(自然+物質+水)乾湿	bb38699
形容動詞	3.5030o・	静か	*で	(自然+自然+音)	x33795
形容動詞	3.1345・	きれい	*。	(関係+様相+美醜)	x24579
名詞	1.5200・	空	*が	(自然+天地+宇宙)ト空	bb40591
形容動詞	3.5020・	真っ青	*で	(自然+自然+色)	x18812
名詞	1.5250・	川口	*の	(自然+天地+川)湖	ar33277
名詞	1.2540・	町	*の	(主体+公私+都会)ト田舎	bb37805
名詞	1.5290・	景色	が	(自然+天地+景)	bv31402
一段動詞	2.3091・	見え	*て、	(活動+心+見る)	x38699
名詞	1.5250・	川	*を	(自然+天地+川)湖	bb38441
ラ行五段	2.1521・	渡り	***	(関係+作用+移動)ト発着	x45662
一段動詞	2.1503・	終え	***	(関係+作用+終了)ト中止ト停	x35872
形容詞	4.4400・	なく	*ても	(否定bc)	x47976
名詞	4.3110・	いい	*わ。	(他+判断+判定)	bb34951
名詞	1.1740・	後	の	(関係+空間+左右)ト前後トた	zzzzzzzz
名詞	1.1700・	方	も	(関係+空間+空間)ト場所	zzzzzzzz
名詞	1.1740・	前	の	(関係+空間+左右)ト前後トた	zzzzzzzz
名詞	1.1700・	方	も	(関係+空間+空間)ト場所	zzzzzzzz
形容動詞	3.1331・	特別に	***	(関係+様相+特徴)	x30233
名詞	1.5010・	人影	***	(自然+自然+光)	ar39612
形容詞	3.1202・	がない	。	(関係+存在+否存在)	x44405
名詞	1.2022・	向こう	*を	(主体+人間+他)	bl41790
一段動詞	2.3090・	見る	***	(活動+心+見聞き)do	x47107
接続詞	4.1123・	と	***	(他+接続+展開)のと	bb41977
名詞	3.1913・	のんびりした		(関係+量+速度)	bb6974
名詞	1.3010・	気分	*。	(活動+心+感情)気分	bv38919
サ変動詞	2.3013pw・	ゆったりし	*て	(活動+心+安心)ト焦燥ト満足	x12383
形容動詞	3.3013pw・	おだやか	な	(活動+心+安心)ト焦燥ト満足	x14881

名詞	1.1742	真ん中		(関係+空間+中ト隔ト端)	bl29344
名詞	1.1780	あたり	*で	(関係+空間+ふちトそばま)	bb31666
力行五段	2.1510	動・き	***	(関係+作用+動き)	x45611
名詞	3.1302	そうに	な	(関係+様相+趣ト調子)	bb28949
一段動詞	2.3430	いけ	***	(活動+行為+行為ト活動cc)	x44701
副詞	3.1010	どう	.	(関係+真偽+こそあどト他)	bb33572
終助詞	xxxxxx	でも		(でも)	zzzzzzzz
形容詞	4.3110	い	い。	(他+判断+判定)	zzzzzzzz
形容詞	3.1920	すご・い	***	(関係+量+程度)	x43908
形容動詞	3.1345	きれい	*な	(関係+様相+美醜)	x24579
名詞	1.1581	広がり	*だな	(関係+作用+伸縮)	bl41570
終助詞	xxxxxx	という		(という)	bb28176
名詞	1.3001	感じ	***	(活動+心+感覚)	bv41027
終助詞	xxxxxx	です	。((です)	bb33613
副詞	3.3013pw	ゆったり	***	(活動+心+安心ト焦燥ト満足)	bb15816
接尾語	1.3001	感	を	(活動+心+感覚)	bb41137
ワ行五段	2.3093	味わっ	*たら	(活動+心+聞くト味わう)	x27155
名詞	1.1651	終わり	*に	(関係+時間+終始)	bl34837
名詞	2.3430	して	****	(活動+行為+行為ト活動ak)	bb34088
名詞	2.3660	ください	*)	(活動+待遇+請求ト依頼)	bb22531
名詞	1.1800	姿勢	*を	(関係+形+形ト型ト姿ト構え)	bv17256
一段動詞	2.1500	変え	***	(関係+作用+作用ト変化)	x27873
接続詞	4.1123	たら、	***	(他+接続+展開のと)	bb28621
名詞	1.4650	バス	*が	(生産物+機械+乗り物(陸↓	bb33205
名詞	1.5250	川	*を	(自然+天地+川ト湖)	bb38441
ラ行五段	2.1521	渡っ	*て、	(関係+作用+移動ト発着)	x45662
ラ行五段	2.1521	渡り	***	(関係+作用+移動ト発着)	x45662
一段動詞	2.1503	終え	***	(関係+作用+終了ト中止ト停)	x35872
接続詞	4.1123	たら、	***	(他+接続+展開のと)	bb28621
名詞	1.3830	交通	が	(活動+事業+運輸)	bv27074
副詞	3.1400	激しく		(関係+力+力)	bl44271
ラ行五段	2.1500	なき	って	(関係+作用+作用ト変化)	zzzzzzzz
力変動詞	2.1500	き	て、	(関係+作用+作用ト変化)	zzzzzzzz
名詞	1.2410	先生	*の	(主体+成員+専門的ト技術)	ar33788
名詞	1.1700	ところ	*に	(関係+空間+空間ト場所)	bb28075
力行五段	2.1527	行く	***	(関係+作用+往復bb)	x46996
名詞	1.1010	のが		(関係+事柄+こそあどト他)	bb33336
名詞	1.4650	車	*が	(生産物+機械+乗り物(陸↓	bb39460
形容詞	3.1910	多・い	***	(関係+量+多少)	x46032
名詞	1.1010	のが		(関係+事柄+こそあどト他)	bb33336
形容動詞	3.3020d	嫌	***	(活動+心+好悪ト愛憎)	x47122
終助詞	xxxxxx	です	ね。	(です)	bb33613
固有人名	1.2390	岩槻	*の	(主体+人物+固有人名)	bv39876
名詞	1.1010	方	*に	(関係+事柄+こそあどト他ay)	bb36500
力行五段	2.1527	行く	***	(関係+作用+往復bb)	x46996
名詞	1.4650	バス	*が	(生産物+機械+乗り物(陸↓	bb33205
名詞	1.1910	多く	*て、	(関係+量+多少)	ar29385
形容動詞	3.1921	結構	***	(関係+量+限度)	x38934
名詞	1.4650	車	*が	(生産物+機械+乗り物(陸↓	bb39460
形容詞	3.1910	多・い	***	(関係+量+多少)	x46032
名詞	1.1010	のが		(関係+事柄+こそあどト他)	bb33336
ラ行五段	2.3000	気になり	***	(活動+心+心)	x21669
サ行五段	xxxxxx	ま・す	。((ま)	x47905
形容詞	3.1910	多・い	*な	(関係+量+多少)	x46032
終助詞	xxxxxx	という		(という)	bb28176
名詞	1.3001	感じ	*で	(活動+心+感覚)	bv41027

名詞	1.4650・	バス	*に	(生産物+機械+乗り物(陸↓bb33205
ラ行五段	2.1541・	乗・つ	***	(関係+作用+乗り降りト浮き x46432
名詞	2.1200・	てる)	(関係+存在+存在) bb33594
名詞	1.4650・	バス	*は	(生産物+機械+乗り物(陸↓bb33205
名詞	1.2000・	人	*が	(主体+人間+人間ai) bb38738
ラ行五段	2.1541・	乗・つ	***	(関係+作用+乗り降りト浮き x46432
名詞	2.1200・	てる	.	(関係+存在+存在) bb33594
接続詞	4.1192・	けど	***	(補足的説明) bb34370
形容動詞	3.1920・	余り	***	(関係+量+程度) x26505
ラ行五段	2.3000・	気にな・り	***	(活動+心+心) x21669
名詞	4.4400・	ません	*。	(否定) bb26271

このあとの手順としては、さらに分類していく。その結果の一部を以下に示す。

	単語の種類	
名詞	バス	7
名詞	感じ	5
名詞	ところ	4
名詞	川	4
名詞	土手	3
名詞	方	3
名詞	のが	3
名詞	河川敷	2
名詞	川口	2
名詞	町	2
名詞	向こう	2
名詞	気分	2
名詞	広がり	2
接尾語	感	2
名詞	車	2
名詞	お茶	1
固有一般	荒川	1
名詞	茶色	1
名詞	気持ち	1
名詞	水	1
名詞	空	1
名詞	景色	1
名詞	後	1
名詞	前	1
名詞	人影	1
名詞	橋	1
固有地名	大分県	1
名詞	側	1
固有地名	福岡県	1
名詞	うえ	1
名詞	目	1
名詞	なか	1
名詞	季節	1

名詞	今		1
名詞	運転手		1
名詞	自分		1
数詞		180	1
名詞	度		1
名詞	ビル		1
名詞	それ		1
名詞	真ん中		1
名詞	あたり		1
名詞	終わり		1
名詞	姿勢		1
名詞	交通		1
名詞	先生		1
固有人名	岩槻		1
名詞	多く		1
名詞	人		1
名詞	レコード数		79